

【要約筆記とは】

話されていることを聞きつかみ、内容を要約して文字にして伝えるものです。聞こえていれば当然のように参加できるはずのその場のコミュニケーションに加われない。自分の意思で行動を決めたいと望んでも、時機を逸してしまいやすい。こうした状況の中に、聴覚障害者は置かれています。話を聞き、考え、判断し、行動するという当たり前の権利が要約筆記によって確保されることになります。

(要約筆記者養成テキストより)

◇要約筆記の三原則

「速く・正しく・読みやすく」

要約筆記によるその場の情報保障がなされるための「遅れない」「話の内容が分かる」「利用する上で負担が少ない」という条件を短い言葉でまとめたものが要約筆記の三原則です。

要約筆記者には、聞こえない、聞こえにくい人に、その人が必要とする情報をひとつでも多く伝えたいという願いがあります。聴覚障害者の意思疎通を支援するために、三原則の達成をめざして日々研鑽しています。

◇要約筆記に関するご意見、ご要望は下記までお寄せください

【お問い合わせ先】

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

〒657-0832

神戸市灘区岸地通 1 丁目1-1 灘区民ホール2階

兵庫県立聴覚障害者情報センター内

Tel 078-805-4175

Fax 078-805-4192

覚えてください！略号・略語

速く書くための手段として、略号・略語があります。

全国標準略号・略語

◇略号

難聴 … ㊶	要約筆記 … ㊸
健聴 … ㊷	手話 … ㊹
聴覚 … ㊸	補聴器 … ㊺
障害 … ㊹	福祉 … ㊻
ろうあ … ㊺	ファックス … ㊼

◇略語

中途失聴 …	中失
磁気誘導ループ …	ループ
コミュニケーション …	コミ
ボランティア …	ボラ

◇組み合わせて使うもの

聴覚障害 … ㊸

・聴覚障害者、中途失聴者、難聴者、要約筆記者、ろうあ者、手話通訳者、健聴者などは略号に「者」をつける。

例：難聴者 → ㊶者 要約筆記者 → ㊸者

◇略称を使う

- ・社会福祉協議会 → 社協
- ・兵庫県難聴者福祉協会 → 県難聴
- ・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会 → 県要連
- ・兵庫県聴覚障害者協会 → 兵聴協等

◇耳マーク … 中途失聴者・難聴者のシンボルマークです



要約筆記は 聴覚障害者への 情報保障

🌸🌸 私たちが伝えます 🌸🌸



講演の内容を OHC で書いている。文字はプロジェクタでスクリーンに表示される。

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

◇ ◇ ◇ 県 要 連 の 活 動 ◇ ◇ ◇

【概要】

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会(県要連)は、県下の要約筆記サークルの連絡体として、1988年6月に設立。

- 1) 兵庫県下の聴覚障害者と共に歩み、聴覚障害者の社会参加と社会生活の向上に寄与すること
 - 2) 要約筆記活動、聴覚障害者団体やその他の諸団体との交流、要約筆記の普及に関すること及び目的達成に必要な活動をおこなうこと
- とし、聴覚障害者のノーマライゼーションの理念の拡がりを願い、「聞こえのバリアフリー社会」をめざして地道に活動を続けている。

*28 サークル

*年会費 4,000円(1サークルにつき)

*理事会 原則 3カ月に1回

(平成27年6月現在)

【主な活動】

- 1) 要約筆記の普及や啓発
- 2) 研修会・学習会の開催
要約筆記研修会、地域交流学習会、専門部活動等
専門部…研修部、広報部、緊急支援部、交流企画部
技術部(PC要約筆記ひょうご・ひょうご手書きの会)
- 3) 広報活動
・機関紙「県要連ニュース」発行
・兵庫難聴「県要連のページ」に寄稿

【関係団体との連携】

- 1) 特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会と連携し活動
・要約筆記者派遣事業の運営に協力
・「ひょうご要約筆記講師の会」の運営に協力
- 2) 兵庫県立聴覚障害者情報センター事業に協力
- 3) 行政やその他の関係団体と連携し活動
・県障害者支援課
・聴覚障害者制度改革推進兵庫本部会議
・ひょうご聴障ネット

など

【OHP・OHC 要約筆記・パソコン要約筆記】

聴覚障害者が多数参加される講演会や会議などでは、透明のロールに書いてOHPやOHCでスクリーンに映します。聴覚障害者は、映し出された文字を読んで話の内容を理解されます。近年はパソコンによる要約筆記も盛んです。

- ・OHP(オーバーヘッドプロジェクタ)
- ・OHC(オーバーヘッドカメラ)

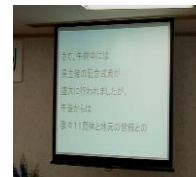
【ノートテイク】

聴覚障害者が1~2人の場合、横で話の内容を書いたり入力したりしていくのをノートテイクといいます。

会議、病院の受診、自治会やPTAの会合、授業参観、各種講座などの個人的な依頼にも要約筆記者は同行します。

【活動の様子から】

◇パソコン要約筆記



パソコン全体投影では、入力された文字は、プロジェクタを通してスクリーンに表示されます。

◇会議での手書きノートテイク



◇研修会での手書き全体投影



平成18年に行われた全国障害者スポーツ大会では、赤いベストを着用。情報支援ボランティアとして大会を支えました。活動では、その場の状況に合わせて、スクリーンに映す全体投影、ノートテイク、手書き・パソコンと情報保障の手段・方法を変えています。